

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/



JF 高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
JF香川漁連

第6回香川県産乾海苔品評会開催

さぬき海の幸販売促進協議会(香川県漁業協同組合連合会、(一社)香川県水産振興協会、香川県)、香川県海苔養殖研究会が主催する第6回香川県産乾海苔品評会が2月17日(火)に漁連研修センター4階大研修室にて開催されました。

この品評会は香川県産ノリのPRとノリ養殖生産者の生産意欲や養殖技術の向上を図るため、香川県下で生産された乾海苔の色、香り、つや等を審査品評し、品質や養殖技術の更なる向上を図ることを目的として開催されたもので、県下の生産者から、平成26年12月下旬から27年1月中旬に生産された中から99点が出品されました。一次審査は、1月18日にノリ検査員によって審査され42点を選定。二次審査は、香川県海苔養殖研究会の西口会長をはじめとする14名の審査員にて、一次審査を通過した42点から審査しました。審査員たちはノリを手に取り色つやを確認したり、焼きノリにして味見したりして味や香りを見ていました。最優秀賞である香川県知事賞は鴨庄漁協の白井重信さんが選ばれました。

各賞は下記表の通り

賞	賞の名称	漁協名	生産者名
最優秀賞	香川県知事賞	鴨庄漁協	白井重信
優秀賞	香川県議会議長賞	与島漁協	角野善一
	香川県農政水産部長賞	津田町漁協	新開祥希
	香川県漁業協同組合連合会長賞	東讃漁協	楠田照彦
	香川県信用漁業協同組合連合会長賞	牟礼漁協	石原與四郎
	(一社)香川県水産振興協会会長賞	直島漁協	(有)久保水産
	香川県海苔養殖研究会会長賞	東讃漁協	下熊光博
	さぬき海の幸販売促進協議会長賞	高松市瀬戸内漁協	中西 廣
高松市ブロック	高松市長賞	下笠居漁協	藤本聖二
	高松市議会議長賞	牟礼漁協	柴原和久
	高松市漁業協同組合連絡協議会長賞	香西漁協	津島和博
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	高松市瀬戸内漁協	小倉秀晴
東かがわ市ブロック	東かがわ市長賞	引田漁協	板坂水産(有)
	東かがわ市議会議長賞	東讃漁協	森本 武
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	東讃漁協	田中 充
さぬき市ブロック	さぬき市長賞	鴨庄漁協	白井勝美
	さぬき市議会議長賞	津田町漁協	大塩正憲
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	鴨庄漁協	石原義博
直島町ブロック	直島町長賞	直島漁協	(有)姫鶴水産
	直島町議会議長賞	直島漁協	(有)丸五水産
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	直島漁協	(有)栄鶴水産
土庄町ブロック	土庄町長賞	唐櫃漁協	山口清秀
	土庄町議会議長賞	四海漁協	新浜勝幸
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	土庄中央漁協	伊加水産(有)
小豆島町ブロック	小豆島町長賞	池田漁協	柴田伊佐生
	小豆島町議会議長賞	内海漁協	竹田久義
	香川県海苔養殖研究会奨励賞	内海漁協	(有)笠井水産
坂出市ブロック	坂出市長賞	与島漁協	浅野政幸
丸亀市ブロック	丸亀市長賞	丸亀市漁協	島 敏雄



審査風景



受賞品と審査員一同

新ノリ祭り開催

1月31日(土)、イオンモール高松(高松市香西本町)にて「香川県産新ノリ祭り」が開催されました。2月3日の節分にちなみ、長さ約12mのジャンボ恵方巻き作りに挑戦コーナーや、焼き海苔作り体験コーナー等があり、イベント参加者は休日の一時を、新ノリの豊かな香りや味を楽しんでいました。

この催しは、さぬき海の幸販売促進協議会等が主催し、今年度の新ノリが販売される時期を迎え、県民の皆さんに生産量全国5位を誇る香川県産ノリのおいしさをPRするイベントで毎年この時期に開催され、今年で5回目となります。

この日、ジャンボ恵方巻き作りは2回行われ、それぞれ親子連れ約70人が挑戦しました。幅約20cm、長さ約12mの特大県産新ノリの上に酢飯を敷き、卵焼き・きゅうり・カニカマの具材をのせ、スタッフの号令で一気に巻き上げました。完成した恵方巻きは、スタッフにより均等に切り分けられ、今年の恵方である西南西に向かい美味しそうに頬張っていました。



なが〜いジャンボ恵方巻きに挑戦!!

第6回白方かき祭り開催

2月14日(土)第6回目となる白方かき祭りは、県内産のカキで初めてブランド化した大粒で良質な白方かきをPRし、販路拡大につなげようと開催されています。

知名度も浸透し、年々来場者も増えてきており、会場駐車場では県外ナンバーの車も見られました。祭りのオープニングを告げる農業経営高校生による拓心太鼓の演奏、その後主催者を代表して白方漁協田中代表理事組合長の挨拶、来賓の丸尾多度津町長の挨拶と続き販売が開始されました。10時の販売開始前から、新鮮な生カキやカキ料理を求める約5千人の家族連れで賑わい、どのブースにも長蛇の列ができていました。

市価より2、3割安い加熱用のむき身、殻つきカキ等も飛ぶように売れ、飲食コーナーでは来場者が焼きカキの熱々の美味しさを楽しんでいました。

田中組合長は「ブランドの名に恥じないよう今後も努力し、皆さんに喜んでもらえるカキを提供したい。」と話されていました。



大勢の来場者で賑わう白方かき祭り